



きずな

令和5年6月号
 特別養護老人ホーム
 ユニット型特別養護老人ホーム
 鳳鳴苑
<http://www.fukuhoukai.jp/>



いつも
 ありがとう

日常の様子



行事予定

☆15日(木) 入居者
 ☆22日(木) 30+7777
 ☆29日(木) 接種

☆各ユニットにて
 お誕生日会

6月

☆10日(月)…法話会
 ☆各ユニットにて
 お誕生日会

7月

今日は何の日? MOTHER'S DAY 母の日

母の日献立~5月15日(月) 昼食~

日頃の母の苦勞をいたわり、
 母への感謝を表す日とされております。

~メニュー~

- ・天ぷらそば
- ・あさりご飯
- ・春キャベツの酢の物
- ・杏仁豆腐

6月生まれの皆様

佐脇 京子 様 金森 郁子 様
 八島 園枝 様 山本 たみ 様
 金場 弘夫 様 北 一枝 様
 張田 千枝子様

HAPPY BIRTHDAY

コロナ禍における介護現場

～介護課～

日本国内でも 2020 年 1 月に新型コロナウイルス感染が発生し、その後感染流行が完全に収まること無く現在までも続いています。その間、鳳鳴苑でも新型コロナウイルスが施設内に入らないように感染対策をおこなってきました。

しかし、残念ながら鳳鳴苑においても複数のユニットで新型コロナウイルス感染が発生しました。その時の対応等についてお話しします。

ユニット内で新型コロナウイルス感染が確認された場合

第一にゾーニングを行います。

ゾーニングとは、他ユニットへ感染が広がらないよう、感染エリアとして区切ります。出入りする職員も限定して感染拡大を防ぎます。

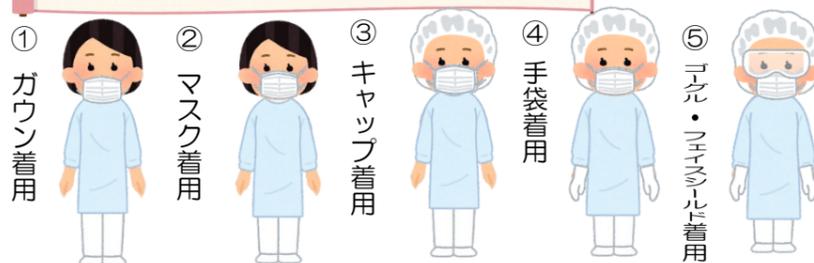
ユニット内においても他入居者様へ感染しないように、居室単位でもゾーニングを行います。

個人防護服 (PPE) について

ユニット内でケアに携わる職員は防護服 (マスク、ガウン、防護キャップ、ゴーグル、手袋) を装着して各入居者様に関わるようになります。

感染された入居者様を対応した後は、一度防護服を脱ぎ、新しいものを装着します。

個人防護服 (PPE) の着用方法

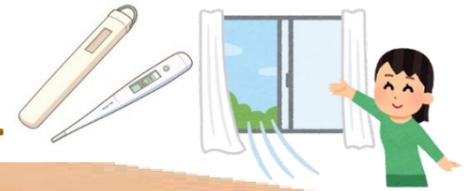


- ① 背中まで隠れるように着用します。
- ② 隙間のないようにサイズのあったものを着用します。
- ③ おでこから被り、耳と髪の毛をすべて中にいれます。
- ④ 手袋は 2 枚着用します。インナー手袋はガウンの下にくるように、アウター手袋はガウンの上なるように着用します。
- ⑤ すれや緩みがないか確認します。

～実際の様子です～



入居者様との関わり



感染拡大防止のため、感染エリアの入居者様の多くは居室対応となり、1 日のほとんどの時間を居室にて過ごして頂くこととなります。安全の為とはいえ、普段とは全く違う生活を強いてしまう事に心苦しさを抱えながらのケアでもありました。

短期間でも生活が変化すると、その後の生活にも影響が出やすく、居室内でも離床を促すなど、少しでも影響が少なく普段に近い生活が出来るように関わりをもっていく事も重要でした。

職員の対応



新型コロナウイルス流行から今まで、職員も日常生活から新型コロナウイルス感染に注意をして生活をしてきました。ユニット内で感染が発生した際には、職員自身が感染者になりウイルスを媒介しないよう防護服を装着してケアを行い、職員自体も体力的にも精神的にも消耗する状況となっていました。

徹底した対策をとっていても、ユニット職員の数名が感染してしまい、少しずつ職員数が減っていく中でのケアとなる場合も多々ありました。

その時には他職種も応援に入り、全体で感染対策をしながらケアを維持して乗り越えることができました。

最後になりますが、少しずつ世間の感染状況は落ち着いてきてはいますが、今後もウイルス感染が入居者様の日常を脅かさないよう、介護現場では引き続き感染対策に細心の注意を払い、日々のケアをおこなっていきたいと思います。

基本理念

- 一、高齢者の生活と人権を尊重し、公正で開かれた施設運営に努めます。
- 二、高齢者が地域で安心して生活を送ることが出来る拠点施設となるように努めます。
- 三、施設は、利用者の社会生活の場として位置づけ、安全で安心した日常生活を送ることが出来る環境づくりに努めます。
- 四、職員は、常に満足のいただけるサービスが提供できるように励み、地域社会活動にも積極的に関わり、地域から求められる施設となるように努めます。